

## 令和4年度 第1回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和4年5月31日（火） 午後6時30分～午後8時00分
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：お互いさま推進協議会委員（13名）欠席2名  
事務局：健康福祉部長、高齢介護課長、高齢介護課高齢福祉班長、  
高齢介護課高齢福祉班員（3名）
- 4 議題
  - （1）令和4年度 二宮町生活支援体制整備事業の予定について
  - （2）「地域福祉課題共有セミナー ～地域福祉を知ろう！地域の担い手について考える～」
  - （3）地域による見守りや気づきの重要性を向上するためのガイドブックについて
  - （4）地域の協議体について
  - （5）その他

### 5 議事録

#### 1. あいさつ

事務局 定刻となりましたので、これより二宮町お互いさま推進協議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。初めに健康福祉部長よりご挨拶をお願いいたします。

健康福祉部長 （あいさつ）

事務局 ありがとうございます。それでは新年度1回目ということなので、自己紹介をお願いしたいと思います。

委員一同 （自己紹介）

事務局 最後に事務局の紹介です。

(自己紹介)

それでは次に移ります。

## 2. 会長・副会長の選任について

事務局 次に会長・副会長の選任についてですが、「二宮町生活支援体制整備事業実施要綱」第4条により会長及び副会長の選任をしたいと思います。会長の選出については、委員の互選により定めることとなっており、自薦他薦があればお願いします。

(自薦他薦なし)

事務局 自薦他薦が無いようなので、事務局にて推薦をさせていただきます。依田委員にお願いをしたいと思いますですが、いかがかでしょうか。

委員一同 (異議なし)

事務局 それでは会長については、依田委員にお願いをしたいと思います。続いて副会長ですが、会長の指名により定めるとされています。会長いかがかでしょうか。

会長 永井委員にお願いをしたいと思いますですが、いかがかでしょうか。

委員一同 (異議なし)

事務局 それでは、副会長は永井委員にお願いをしたいと思います。  
次に、会議の傍聴につきまして「会議及び会議記録公開に関する取扱要領」により、本日の会議の公開について委員の皆様へお諮りします。本日の会議を公開することで、公正かつ円滑な審議が著しく阻害される恐れは無いと思われまます。よって本日の会議は公開したいと思いますですが、いかがかでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。なお、本日は傍聴者がおりませんため、議題に入ります。会議の進行につきましては、依田会長にお願いしたいと思います。

### 3. 議題

#### (1) 令和4年度 二宮町生活支援体制整備事業の予定について

会長                    それではこのことについて、事務局より説明をお願いします。

事務局                    (資料2に基づき説明)

会長                    このことについて、何かご意見等あればお願いします。

委員                    9月6日については、日程変更は可能ですか。

会長                    他の方で都合がつかない方はいらっしゃいますか。とりあえず次回の日程を確認できればと思いますが。また、日程変更について事務局はいかがでしょうか。

事務局                    基本線はこのままで、調整できるようであれば変更するということがいかがでしょうか。

会長                    では、とりあえずは9月6日で行うこととし、再調整の可能性を残し、資料のとおりとします。

#### (2) 「地域福祉課題共有セミナー ～地域福祉を知ろう！地域の担い手について考える～」

会長                    それでは事務局より説明をお願いします。

事務局                    (資料3、4、5、6、7に基づき説明)

                                  これまで、協議体等に参加をしていない方も、このセミナーに参加いただいております。その中で、前向きなご意見等も伺っています。また、今後、我々が行っている繋がりや、2層協議体であったり、参加者の方へも発信できたらと考えています。

会長                    昨年度より、「担い手不足」ということが言われていますが、その点をどうするかという内容のセミナーでした。皆さんより何かご意見や感想があればお願いします。

委員                    私はZoomで参加をさせていただきました。紹介のあった3団体について、どれも自主的に活動され、立ち上げを行ったということが共通してあります。本当に勇気がいることだと思いますし、社協としても上手く関わ

りを持っていきたいと思っています。

会長

私も Zoom で参加をしています。頭の中が少し整理できたかなと思っています。今委員が言われましたが、この町の規模で3つの団体が活動をしているということは、影響力がじわじわと広がっていくのではないかと思います。これがもっと大きい市であると影響力が薄まるので、そういった面ではうれしく思いました。

私の持論ではありますが、ボランティア活動をしたいという人が、人口の数パーセント、潜在的な物があるとすると、分母が小さいほうが活動する人数という点では、少なくなる可能性があります。そういったマイナスの面を超えて、こういった活動がいくつかあり、その活動を大事にして行ける地域になっていくのかなという気がしました。

他に何かありますか。特に無ければ次の議題に移ります。

### (3) 地域による見守りや気づきの重要性を向上するためのガイドブックについて

会長

それでは、このことについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料8について、今年度中に、地域の見守りや気づきの重要性を向上するためのガイドブックを作成する予定です。こういった見守りをするのかや、見守りとは何かということ、是非住民の方へ広げるということを趣旨として行いたいと思っています。

今、「地域共生社会」というキーワードが出ていますが、「どんな世代の方でも自分らしく生きがいを持って生き続けることができる社会」を言います。詳細について、資料をお願いします。

(資料8、参考1、参考2、参考3に基づき説明)

事務局

こういったものを作成する予定ですので、是非皆様からもご意見、ご提案等いただければと思います。

会長

なかなか深い話にもなってくると思います。初めに私より確認したい点があります。

お互いさま推進協議会は、資料8にもあった「地域の支え合い機能は低下しているため」という点を何とかしたいということもあるのではないかと思います。そういう部分はこのガイドブックのどこかに入ってくるのでしょうか。

事務局

ガイドブックと言うと大げさな話にもなってしまうのですが、色々な世

代の方がいらっしゃいます。今、高齢者の方も多くなっていますし、このコロナ禍で生活困窮者も増えている状況です。そういった広い意味での見守り体制を強化できるような冊子を作りたいと思っています。

健康福祉部長 作成をすることになった経緯についてですが、現状一人暮らしをされている高齢者の方も多くいらっしゃいます。さらにはコロナもあり、「最近姿を見ないけれど、どうしているのだろうか」と言うことだと思えます。それが今、地域に民生委員がいるので、全部把握ができるかと言われると、そういう訳ではありません。昔がそうだったかはわかりませんが、隣近所の方が少し気にかけてあげるだけで、かなり違うと思います。それをあまり難しいこととは考えずに、誰が見ても、この冊子に書いてあることを実践してみようと思えるような物があると良いのではないかということが発端です。何をすれば良いのかということが理解できたり、冊子に書いてあることを見れば、どのような活動ができるかがわかるような物ができたら良いなと思っています。実際に皆さんは色々な角度から活動をされているので、ご意見等いただければと思っています。

会長 資料を見ていただき、ご意見等あればお願いいたします。

事務局 補足ですが、今回作成する物について「ゆるやかな見守り」をキーワードにしたいと思っています。

委員 これから作成されるとのことですが、参考1の内容でありますと、堅苦しい感じがします。地区長のように、初めから問題意識を持っている方であれば、緻密に記載された内容について理解ができるかと思いますが、地域住民の方で考えれば、もっとシンプルに、見出しが数個あって、それに対して簡単な内容が記載されているといった作りのほうが、理解しやすいと思います。そういった内容について、広報紙等で発信していただくことや、作成した冊子を全戸配布していただくことで、目を通していただき、実際にそういったことが起きた際に、あの冊子に書いてあったと、頭に残るような内容が良いと思います。また、私や他の委員にも商売をされている方がいらっしゃいます。私は、参考3の高齢者見守りチェックシートをレジの下に置いて、買い物に来られる方を見えています。他のお店でもシートを置いている所がありますが、そういった方へあの方は少し様子が変わりませんでしたかと確認しながら、包括支援センターへ繋ぐこともあります。

対象とする方によって異なるところもあり、1つで全体を網羅することは難しいのではないかと思います。私も過去に民生委員の経験があります

が、「見守り」という言葉について、積極的に「大丈夫ですか」と声掛けをしても、言われた側からすると嫌な気持ちになることもあります。ですから、そうならない切り口の言葉を探して、結果繋がるのは見守りだよねとなる冊子ができたら良いなと思います。とても難しい問題提起だとは思いますが、そのように思いました。

委員

私も同意見で、硬さしか見えません。例えばですが、参考1の副題となっている「誰もが安心して住み続けることができる地域社会を実現するために」とありますが、こういった町を作りたいという主眼で、その流れの中に見守り活動をしていくことで、良い町になるという作りのほうが、最終的に目指す所としては良いのではないかと思います。チェックシート等も、この内容の意味が分かる方でないと難しいこともあると思います。本当に気づくかどうかのレベルで始められるような書き方のほうが良いのではないかと思います。

会長

4、5ページという話もありました。コンパクトにすることは難しいと思いますが、その点いかがでしょうか。

委員

ハードルを下げ、例えば、雨戸が空いているかどうかをチェックするくらいにして、目で見てわかる程度にすることが良いのではないのでしょうか。そうすれば子どもでも理解することができ、伝わるのではないかと思います。

会長

近所の方との挨拶だけでも違いますよね。見知らぬ方でも挨拶をすることで、先ほど出ましたが、「ゆるやかな見守り」ということに繋がるのかなと思いました。

委員

先ほど出ましたが、「見守り」という言葉について、これは見守られる人の視点に立ったもので作っていかないといけないと思います。共生というのは共に生きるということですので、先ほど会長がおっしゃっていた「あいさつ」もそうです。自分も見守られているし、自分も誰かを見守っているということ。「見守り」という言葉が一方的に聞こえてしまいます。ですから、違う言葉があれば良いと思うし、二宮らしいものができるとう良いなと思います。例えばニーノとミーヤを利用した物や、写真が多くあってイメージが伝わりやすい物とか。もしできるのであれば高齢者に対しての見守りだけでなく、小さいお子さんから、若い世代、高齢者と横断的に見守りができると良いのかなと思います。

私は認知症について話をする機会が多いですが、それは子育て世帯に

も通ずるものがあると意見をいただくことも多々ありますので、是非、多世代に繋がるものができればと思っております。

会長 先ほど言った、町づくりの視点というか、地域全体で、皆が思ったことをできるような物が良いのかなと思います。

委員 堅苦しい言葉ではなく、優しい言葉を使ってもらったほうが良いかなと思います。また、字体が小さいと見づらく、誰もが見ることができる物が良いと思います。参考資料のような内容では見る人がいないのではないかなと思います。緩やかな見守りは、町にふさわしいものであると良いですね。

会長 参考3について、私も作成に携わったかと思います。字は大きいですが、字体をもう少し柔らかくしたら良いかなというイメージもあります。字が大きく、写真も多く使用し、編集は大変かと思いますが、その辺り是非お願いできればと思っています。

委員 例を入れて、一方的な内容ではなく、こういう時にどのような対応をすべきか、どこへ連絡をすれば良いかということが分かるとより良いと思います。

事務局 参考3について、これは民生委員やお店の方へ見守りを依頼する際に、「見守りをする対象の方とはどんな人か」という声が多く上がったので、それをわかりやすく可視化して作成をしています。それは地域共生の部分でもありますので、見守りという点、多世代という点を是非提示していきたいと思います。

委員 実際に参考3に記載のある方がいた場合、地域包括支援センターへ連絡をすれば良いのでしょうか。

委員 そうです。

委員 その後はどのような対応をしてくださるのでしょうか。

委員 例えば、銀行で手続きができず、気になる方がいるとの連絡を多くもらうことがあります。そこで我々が出向き、お話をする中で関係性を構築し、繋がりを少しずつ持っていく、対応をしています。

委員 小学校や中学校で先生より生徒の皆さんへ、内容の説明、配布してもらえば良いのではないのでしょうか。そうすれば親御さんへも伝わりますし、先生から説明いただくことで、生徒たちも理解することができると思います。下の世代から見守っていくことができると思うので、配架する場所の工夫も必要かと思います。また、こういった内容を大きく看板にして、駅前に貼ることはできないのでしょうか。誰でも見ることができるようにして、何かあれば記載の電話番号に電話をしていただく。そうすれば、あそこを書いてあったなというような感じで、気づきが生まれます。予算の関係もあるかと思いますが。

置く場所や、わかりやすい一言などを入れる工夫等をすれば良いのではないのでしょうか。

会長 ありがとうございます。現状、これは紙媒体のみで発信をする予定でしょうか。

事務局 そうですね。紙媒体だけでなく、SNSでの発信もする予定です。また、認知症の普及啓発という点で、小学生に渡したりすれば親御さんにも渡るというご意見をいただきました。参考3については、お店に置いていただくことを想定し、作成をしております。やはりお店に来る方は、色々な方がいらっしゃって、あの方はもしかしてということは感じているけれども、それをどうして良いかがわからないということがあると思います。何か背景にあるかもしれないということから、包括支援センターに繋がり、さらに次の支援の展開に繋がったケースは往々にありました。認知症の方に限りませんが、心配な方は地域の色々なところに顔を出すこともあります。早めの対応ができるよう、このチェックシートを作成したという経過があります。実際には効果もありまして、最悪のケースを防げたこともありました。

委員 3,000部作成されるとなると、どの程度の金額がかかるのでしょうか。

事務局 おおよそ3万円程度です。これは印刷代のみのお話になります。印刷業者へ依頼をすれば、デザイン等も作成していただけますが、二宮町独自の物を作成したいと考えていますので、印刷代のみを想定しています。

委員 町内にイラストレーターの方が多く転入しています。これをやりたいと言ってくれる方もいらっしゃると思います。それこそ地域の繋がり作りの一環だと思います。例えば、子どもが書いた絵を使ったりすると、親御さんも見ると思います。そういったことをきっかけに使うということも必



要ではないでしょうか。チェックシートについてもただ作成しただけではなく、持って回ることによって繋がった方も沢山いらっしゃいました。見ていただくことも大切ですが、どのような繋がりを作れるかということも非常に大切に思っています。

事務局                    とても良いご意見を沢山いただきました。ありがとうございます。

委員                      作成することは良いと思います。こういった物は、多々見る人が多いです。皆様のご意見でも出ましたが、内容が固いと思います。1行読んだらもういいとなってしまいます。もう少し柔らかい言葉で、完結にさせていただき、イラストも使いながら作成していただければと思います。

委員                      私のいる事業所で働いている方の話や、訪問先での話を色々聞いたりすると、こういった包括支援センターへ繋がった後、どのように動いているのか。包括の方が動いているのか、町の方が動いているのか、経過がわからないという話は時々伺います。そういったことがわかると連絡しやすいのではないのでしょうか。

その他、見守りをしてくださっている熱意のある方が多くいらっしゃいますが、手伝ってもらわなくても良いという方もいらっしゃいます。一生懸命に働いてきた世代が多いのか。しかし、年を取ったらできないことも増えますし、できないことは助けを求めても良いんだということも併せて表現をできれば良いのかなと思います。助けることは皆さん得意ですが、助けてもらうことが苦手なのかなと最近思います。

会長                      見守られていることがわかることだけではなくて、その次のステップ、具体的にはSOSの発信などまで素直にできるような環境も必要なのかなと思います。

委員                      言いたいけれど言い出せず、一歩踏み出せない部分を後押しできれば良いなと思います。

委員                      先日たまたま、けがでお困りの方が一旦断ってしまった介護保険申請を、再度包括支援センターに繋がったというケースがありました。

お客様から「けがをしたから商品を届けてほしい」とご注文をいただいたので、その方のお宅に配達へ行き「この前から比べると調子が悪そうで、不便そうですけれど、申請はしたのですか」とご本人へ確認したところ、「その日の午前中に包括支援センターの方が来てくれたけれども、断って帰した」と言われました。

やはり初回に見知らぬ方が来て、良かれと思って色々な話を伺っても、まずその方に心を開く前に、大事な話を聞いてしまうと、次のステップへなかなか行けないことが多いと思います。私が「どのような話をしたのか差支えなければ教えてほしい」と話してみたところ、たくさん良い資料を持っていました。本人へは「もう一度話を聞いてみますか」と意思の確認をしたところ「聞いてみる」とおっしゃったので、その日の午後、包括支援センターの方から連絡を入れてもらい、後日再訪問していただくことにより、支援に繋がったということがありました。助けてほしい気持ちではありますが、知らない方が来ると、自身を良く見せてしまう方が多くて、SOSが出せなかったり、やりますと言えなかったりする方がいます。私も民生委員の経験があるので、1度訪問しても断られたりすることも多くありましたが、まずは一歩引いてみて、その方が、その次に崖っぷちに来た瞬間を逃さずに動くということが、地域の皆さんの見守りに繋がるのではないのでしょうか。

近所の方が、ゴミ出しができなくなっていて、溜まってしまったりすると、そこで初めてこの方は支援が必要な方なんだなと理解することができる、そういうことではないのでしょうか。とっかかりを作ること、認識を持つことも大切ですが、それだけではなく、皆さんの潜在意識を小学生のうちからインプットすることで、大人になっても見守りができると思います。

#### 副会長

私は長い間、病院の付き添い等を行っておりますが、徐々に心を開いてくださり、利用者さんから、心配なことについてお電話等をいただけるようになって、行ける時にはフォローをしたり、お話を聞いたりしています。病気ではなくても色々なお話をしてくださいます。そういった点で、見守りは良いなと思っております。

高齢者の方もそうですが、小学生の見守りもしています。あいさつをしてくれなかった生徒も、徐々にあいさつをしてくれるようになり、道で会う中学生、高校生もあいさつをしてくれます。見守り時でなくても声をかけてくれますし、あいさつというのは、その一言が大切であると感じています。高齢者の方も、最初にお話しましたが、心を開いて、その方からも力をいただけるような形にしたいと思っています。

また、先ほどお話しました安心でんわについては、長い方だと30分程度お話する方もいます。そういった方は普段お話をされていないのです。特にこのコロナ禍でお話ができている方が多くおり、テレビの話、政治の話、自身についての話等をしてくれますが、なかなか電話を自分からかけるとということが難しく感じる方もおり、ある方はお昼の15分前にかけるようにして、お昼になったら電話を終えるという方もいらっしゃいます。

す。この安心でんわはとても良いと思います。今ボランティアは8名おり、十数名の方へ電話をしています、双方楽しく活動をしています。

委員

見守りという言葉について、どちらかが一方的に見守るわけではないですね。高齢者の方に我々も見守っていただいている。どちらの立場にもなりうるということを手く表現できないでしょうか。小学生も見守られているし、見守っている存在であります。先ほどお話にもありましたが、小学生からあいさつをしてもらえるところもうれしいですね。お互いがWin-Winになるような関係性を表現できると、町全体の雰囲気も変わってくるのではないのでしょうか。

委員

このようなシートなどは、こちらがどのように見守るかという一方的なものですが、逆のものが無いと思います。このようにしてもらおうとうれしいということ、これが分かれば、実際にこういうことをして良いんだ、手伝って良いんだという雰囲気作りができるのではないのでしょうか。見守られている側の意見、見守りができている、見守りがされているということが確認できる物も良いのではないのでしょうか。

委員

よく来てくれるお客様で、私の顔色を心配してくれる方もいらっしゃいます。そういう関係性を築いていけるような物が面白いのではないのでしょうか。

委員

議題名が「地域による見守りや気づきの重要性を向上するためのガイドブック」とあります。皆様のご意見を聞いて、私も商売をしていますが、私の店の青果売り場で、私のファンの方がいらっしゃいます。名前も知らない方ですが、幅広い年齢層の方がおります。朝一に必ず来られる方や、必ず決まった時間に、決まったものを買われる方もいらっしゃいます。今日来られた方も、常連の方で、1年中毛糸の帽子を被っている方がおり、「いつも帽子を被っていますけれど、暑くないのですか」と聞いたところ、「息子が誕生日のプレゼントにくれた物なの」とうれしそうに話されていました。私も仕事ですから、品出しをしなければいけないし、商品を作らないといけません、そういった話をするのが、次にその方が来られた時に繋がると思います。

また、ある方は冬場にいつも帽子、マフラーをしていたのですが、その日はどちらもしておらず、心配をして声を掛けたことがありました。すると次の時からはきちんと帽子、マフラーをしており、前に心配していたから、今日は帽子とマフラーをしてきたと言われたことがありました。こちらとしてもお話ができてうれしいんです。

「見守りや気づきを向上させる」とありますが、気持的にすぐに動ける、何か意図する内容が含まれているものが必要なのではないでしょうか。先ほどお話にも出ましたが、小学生には小学生にわかる内容、社会人にはもう少し掘り下げた内容で、チェックシートを簡素化し、理解しやすいものという2種類くらいを作成するほうが良いのではないのでしょうか。小学生に理解できる内容で、親御さんと共有してもらい、またお店等関わりが持てる方たちに向けたものを作成されていると、接客等の中で生きてくるのではないのでしょうか。職場では、お客様とコミュニケーションを取ることが非常に大切なポイントになると話しています。今回は「向上させる」物を作るのであれば、それぞれの世代にわかるものを作ったほうが良いのではないかと思います。

会長                    たくさんのご意見ありがとうございました。他に何かありますか。

委員                    皆さんのお話を伺っていると、やはり繋がりを作ることで、良い関係も築け、お互いの様子が分かる。先ほどお話が出ましたが、あいさつを交わすことは、誰でもできることでありますし、副会長の活動はできるようでなかなかできないことだと思います。そういった地域での雰囲気作りというのはとても良いことです。

                            二宮町の教育の中で、代々受け継がれていけるようなもの、例えば「にのみやあいことば」のようなものを、イラストを交えて作るのが良いのではと思いました。

副会長                先日一色小学校の朝礼で、学校が私たちを呼んでくださいました。また、皆さんの登下校を見守りしていただいているとご紹介をいただきました。そこではいつも見ている生徒たちがいて、とてもうれしかったです。ですからそういったこともお互いの顔を知れてよかったと思っています。

会長                    それでは次の議題に移ります。

#### (4) 地域の協議体について

委員                    資料2の予定表をご覧ください。現在、二宮小学校区、山西小学校区、一色小学校区の3つの小学校区で、2層協議体を3か月に1回開催をしています。このコロナ禍において、定例的に活動することが難しくなっていますが、この5月には3つの地域で話し合いをすることができました。資料9も見ただければと思います。

                            「たんぽぽささえたい」については、5月24日に開催をさせていただいております。今回は「担い手」について話し合いをしました。先ほどよ

り色々のご意見が出ておりますが、繋がりを作るということが、地域の担い手にも繋がる部分かと思えます。内容については、この資料を見ていただければと思います。

また、裏面が「クローバーの笑・輪・和」となっており、こちらは5月26日に開催をしています。テーマは同じく「担い手」について話し合いをしました。ここでも一番下に記載のあるように、人と繋がる機会を増やすことで、担い手の部分にも繋がるとの話が出ました。また、既存の団体と新たな団体がマッチしないということも課題として挙げられ、その点の見直しも必要ではないかというご意見もありました。

それぞれの話し合いも踏まえ、この協議体では二宮町全体を考える会となっておりますので、この会でも担い手について今回のご意見を踏まえ、2層協議体へ返していただけたらと思っています。

「いちふく」に関しては、昨日コミュナルダイニングにて会長とお話をする機会がありました。「いちふく」については、会の再編をするとのことで動いているということです。

会長

担い手をテーマに意見交換をしているかと思えますが、やはり世代間の繋がりが上手くいかないということが意見として多くあったかと思えます。コロナ禍で、地域でのイベントが無いということも要因かと思えますが、そういった地域のイベントについて、今後参加する、または参加できるイベントを企画することが必要かと思えます。

これが先ほどの議題でも、地域での支え合いの機能が低下しているところに関わりがあるのかなと思えますが、その辺をどのようにしていくかというのは、先ほどのガイドブックで表現できれば良いのかなと思えます。目的別に、これは第1弾、第2弾、第3弾と進めていくことも手法かと思えます。

#### (5) その他

会長

その他、何かありますか。

事務局

資料9について、2層協議体については、次回8月に開催をする予定です。また、2層協議体について、今回議題としましたが、8月開催の内容も踏まえ、報告だけでなく、さらに掘り下げた形で繋がり作りや、担い手について、皆様のご意見を伺いながら進めたいと思います。今回は色々なご意見をいただき、ありがとうございました。

閉会 午後8時00分